

# 一般質問

宮田 均

(無所属)

## 観光によるまちづくり

**問** 観光は、国際平和と国民生活の安定を象徴する。これは観光立国推進基本法の一部であり、地域における創意工夫を生かした主体的な取り組みを尊重しつつ、地域住民が誇りと愛着を持つことができる地域社会を推進していく。富良野市観光振興計画も2年半が過ぎた。進捗状況、具体的に取り組んでいる内容、現状、課題は。

**答** 計画をもとに、富良野のイメージを磨き上げ、効果的な売り込みにより、季節偏差のない通年型・滞在型観光地の形成に取り組む。

**問** カーリング、全国ウォーキング大会、りんご、なし等の果樹の花と加工を具体的に組み込む考えは。

**答** カーリングは南富良野町に任せる。ウォーキング大会は関係団体と連携し、宿泊につながる取り組みを進める。果樹のり

んご・なし等は既存農家にあるもので取り組む。

## ファミリーサポート制度は

**問** ファミリーサポート制度は必要と考える。現状と今後は。

**答** 今後利用したい子育てサービスタとして、ファミリーサポート制度を利用したい人は541人中43人で、7・9%である。

少子化であり、子どもが健やかに育つ環境を整備することは市民と行政の責務。子育てを支えるシステムであり、少子化に歯止めをかけるシステムの一つであると認識している。

## 【その他の質問】

◇除排雪対策について

◇看護専門学校について



生み育むまちづくり

覚 幸 伸 夫

(民主クラブ)

## 森林の環境保全は

**問** 森林の働きと役割についてどのように認識しているか。

**答** 本市の森林面積は、約4万2千ヘクタールと多く、木材の生産、水源かん養など多面的な機能を市民に寄与し、二酸化炭素の吸収や多様な野生生物の生育等、環境保全に重要な働きをしている。また、森林は農業の作物成長に必要な水を供給する源でもあり、田園風景と自然景観が魅力である本市観光として欠かせない重要なものと認識。

**問** 森林の再生・整備について、基本的な考え方を伺う。

**答** これまで、森林所有者の努力により森林整備されてきたが、造林に対して採算性が合わなく、所有者の経済的負担が大きいため、十分な整備が行われないまま放置されている状況であるが、平成22年6月に閣議決定された「21の国家戦略プロジェクト」に組み込まれた森林・林業再生プ



森林整備の作業状況

ランにおいて市としては、森林を守り次の世代に引き継ぐため関係団体と連携して取り組んでいきたいと考える。

## 農林業に係る未利用資源

**問** 本市のバイオマス資源を活用した地域振興について。

**答** 本市では、昨年度新エネルギービジョンを策定し、バイオマスなど地域に見合った効率・安定的な手法を見出すべく調査研究を進めている。木質バイオマスの利用は、森林資源が豊富な本市の特性からも重要な課題と認識しているが、木質チップなどに利用されている。発電のみならず、新たな技術開発も見受けられ地域振興を検討する。